

園芸市場情報

令和7年11月号

www.pref.chiba.lg.jp/ryuhan/engei/

発行：千葉県農林水産部生産振興課
首都圏マーケティングセンター
住所：〒143-0001 東京都大田区東海3-2-1
大田市場事務棟4F
電話：03-5492-5416・5407
FAX：03-5492-5407

11月の相場見通しは？！

野菜類は、入荷量は前年をかなり上回り、相場は前年を大幅に下回るか！

果実類は、入荷量は前年をやや上回り、相場はやや下回るか！

花きは、入荷量は前年並、相場は前年をやや下回るか！

<今月の写真>

企業の社員食堂において千葉県フェアを開催しました！

首都圏マーケティングセンターでは、千葉県産農産物の魅力発信及び認知度向上を目的として、卸売市場、食堂運営会社、JAグループと連携し、企業の社員食堂のランチメニューにおいて「千葉県フェア」を開催しています。

今年度は、7月と10月に実施し、「とうもろこし」「ししとう」「えだまめ」「さつまいも」「タカミメロン」「日本なし」等、千葉県が全国に誇る青果物をふんだんに使ったメニューを作っていました。

7月、10月のフェアともに東京本社及び首都圏内の事業所において各600食(計1,200食)が提供され、本社分の各300食は両日も13時までに全食完売と盛況の内に終了しました。

社員食堂における千葉県ランチフェアの取組は、これまで対象として捉えきれなかった“働き世代”に対するマーケティングの場にも繋がり、新たな県産農産物PR手法の1つとして期待できます。

今後も引き続き、本取組をモデルとして、フェアを継続することによる県産農産物の認知度の変化などの効果検証を行っていきます。

また、他の企業等で同様の取組を拡大する場合の課題整理も同時に進めていきます。



食堂内の千葉県販促コーナー

産地ポスターや出荷箱を掲示いただきました！



10月メニュー「秋の千葉 美味ちーばセット」

黒アヒージョが新米の「粒すけ」に乗っています！

CONTENTS (目次)

I 青果情報	1頁
10月(中旬まで)の経過	
東京都中央卸売市場の主要品目の入荷量と価格	
11月の見通し	
今月の青果物 特集「ねぎ」	
II 花き(切花)情報	6頁
10月(中旬まで)の経過(販売経過、品目別経過)	
11月の見通し(カーネーション、ガーベラ)	
9月の入荷量と単価の経過 <<確定値>>	
III やっちゃんば閑話	7頁
「箱推し」	
IV 首都圏掲示板	8頁
・枝物生産者による市場及び店舗視察会が開催されました!	

用語解説

園芸市場情報に使用する主な用語解説	急騰	: 前日に比べ大幅に価格が上がる。(3割程度以上)	変動の幅を示す用語	平年並	: ±3%未満
	強い	: 前日に比べ10%程度以上価格が上がる。		やや	: ±3~6%未満
	強保合	: 前日に比べ5%程度以上価格が上がる。		かなり	: ±6~16%未満
	保合	: 前日とほとんど同じ価格。		大幅	: ±16%以上
	弱保合	: 前日に比べ5%程度以上価格が下がる。			
	弱い	: 前日に比べ10%程度以上価格が下がる。			
	急落	: 前日に比べ大幅に価格が下がる。(3割程度以上)			
	まちまち	: 産地、品種により、価格の騰落が異なること。			

I 青果情報

1 9月下旬～10月中旬の経過

気 象

9月下旬は暖かい空気に覆われやすく、旬間平均気温は全国的に平年よりかなり高かった。旬間日照時間は湿った空気や前線の影響を受けやすかった西日本では平年より少なく、他の地域では多かった。

10月に入ると、偏西風が平年より北に偏って流れたため、旬平均気温は、上旬は全国的に、中旬は北日本を除いた地域で平年より高かった。また、中旬は停滞前線や湿った空気の影響を受けやすく、曇りや雨の日が多くなり、旬間日照時間は沖縄・奄美以外の地域で平年より少なく、旬降水量は東・西日本太平洋側以外で平年より多くなった。

野菜類

入荷量

「はくさい」「キャベツ類」「だいこん」を中心に入荷。

高温・干ばつの影響を受けた「ばれいしょ類」「たまねぎ」等北海道産野菜、花落ち等に見舞われた「トマト」「ピーマン」等は入荷量が伸びなかった。

野菜全体では、9月下旬から10月中旬までの入荷量は105,598t（前年比97.5%）と少なかった前年並だった。

相 場

上記入荷が少なかった品目を中心に高値が続いた品目が多く、「たまねぎ」は平年比2倍、「トマト」「ピーマン」は同2割超（前年も高単価だったため、前年を下回ったものもある）等、指定野菜すべてで平年並以上の単価となった。「キャベツ類」はおおむね前年並の入荷量となっているが、契約栽培等の市場外流通分の需要は満たされているようで、前年のような高単価には至っていない。

野菜全体では、9月下旬から10月中旬までの価格は308円/kg（前年比98.8%）と、高値となった前年並だった。

果実類

入荷量

「かき類」「みかん類」「りんご類」を中心に入荷。

「みかん類」は前年、各産地でかなりの不作であったため、今年は大玉傾向で箱数も多いことから前年比大幅に増加したが、一昨年と比べるとやや少ない。「かき類」は前年各地で発生したカメムシ類被害が今年は少なく、前年を上回る入荷量となった。「りんご類」は不作傾向となった前年を下回る入荷量で推移した。

果実全体では、9月下旬から10月中旬までの入荷量は31,022t（前年比105.9%）と前年をやや上回った。

相 場

「みかん類」「かき類」等の品目は、不作傾向だった前年を上回る入荷量となり、価格は前年を下回る傾向となった。

果実全体では、9月下旬から10月中旬までの価格は532円/kg（前年比94.5%）と前年をやや下回った。

東京都中央卸売市場における入荷量と価格

2025年9月下旬～10月中旬

(単位:t、%、円/kg)

品目	9月下旬				10月上旬				10月中旬				10月中旬～11月上旬合計			
	開市日数 本年7日・前年7日				開市日数 本年7日・前年7日				開市日数 本年8日・前年7日				開市日数 本年22日・前年22日			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
野菜総量	33,762	97.7	321	102.4	35,717	95.9	318	100.1	36,119	98.8	287	94.0	105,598	97.5	308	98.8
うち外国産	402	129.2	615	78.4	414	124.5	667	83.7	425	130.4	581	76.2	1,241	128.0	621	79.5
果実総量	9,165	104.2	618	98.5	10,110	101.3	552	97.7	11,747	111.7	447	88.4	31,022	105.9	532	94.5
うち外国産	617	91.2	345	103.0	673	91.0	333	99.1	513	69.7	355	109.8	1,803	83.8	343	103.7

主要品目一覧(都中央全体)

(単位:t、%、円/kg)

品目 (野菜)	9月下旬				10月上旬				10月中旬				10月中旬～11月上旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
だいこん	2,709	99.8	151	116.5	2,754	93.0	136	101.9	3,301	108.6	102	79.6	8,764	100.6	128	98.1
にんじん	2,160	93.9	140	108.5	2,307	89.5	143	122.5	2,477	88.2	150	130.0	6,945	90.3	145	120.6
はくさい	2,389	89.0	113	103.1	3,469	96.7	112	86.0	4,475	107.4	81	85.3	10,334	99.0	99	89.2
キャベツ類	4,806	99.0	90	81.1	4,947	98.3	101	81.0	4,921	92.6	97	78.8	14,674	96.5	96	80.2
ほうれんそう	156	78.8	1,095	111.7	298	108.8	866	93.8	411	121.4	626	84.2	865	106.7	793	92.0
ねぎ	1,215	92.9	482	101.7	1,384	94.3	449	95.8	1,461	94.1	393	81.5	4,060	93.8	439	92.3
レタス類	2,961	105.0	189	77.0	2,650	98.0	211	88.9	2,793	133.6	155	51.7	8,404	110.4	185	71.7
きゅうり	1,725	101.3	490	108.7	1,779	105.9	441	89.8	1,309	99.9	430	82.0	4,813	102.5	456	93.8
なす	918	118.7	427	90.7	914	104.7	398	86.1	913	101.6	342	88.9	2,745	107.9	389	88.9
トマト	1,499	103.1	699	107.4	1,364	98.7	728	95.8	1,280	118.0	688	80.3	4,143	105.7	705	94.5
ピーマン	704	96.5	505	76.3	704	102.2	594	99.0	667	116.4	554	85.4	2,075	104.2	551	86.5
さといも	195	92.2	389	105.2	227	98.1	406	104.0	233	93.2	402	105.1	655	94.6	399	104.8
ばれいしょ類	2,067	106.1	157	134.5	2,119	89.2	171	148.0	1,704	80.1	202	169.7	5,890	91.3	175	149.5
たまねぎ	2,248	81.6	191	180.9	2,412	80.6	201	194.2	2,283	77.6	211	202.8	6,942	79.9	201	192.7
生しいたけ	167	104.8	1,020	99.4	184	100.7	1,023	97.8	200	96.9	1,047	99.8	550	100.5	1,031	99.0
かぼちゃ	741	103.1	190	99.0	689	95.4	201	99.4	698	98.0	205	93.3	2,128	98.8	198	97.0
かんしょ	1,047	88.7	288	105.5	1,052	95.9	302	107.5	812	86.5	304	105.5	2,911	90.5	298	106.2
かぶ	247	111.1	170	99.3	347	118.5	161	96.6	324	105.2	156	99.2	917	111.5	162	98.3
ごぼう	139	106.9	403	109.5	120	74.5	437	113.3	116	78.2	457	124.1	375	85.3	431	115.0
こまつ菜	452	94.6	417	118.0	596	131.2	280	61.8	494	117.7	242	58.5	1,542	114.0	308	75.9
こねぎ	108	111.0	1,213	75.8	111	105.4	1,216	72.3	103	98.0	1,202	72.7	322	104.6	1,210	73.5
糸みつば	27	97.9	950	102.5	32	110.0	727	80.0	30	91.2	630	87.7	89	99.3	762	90.3
しゅんぎく	11	113.1	1,940	104.2	21	121.9	1,269	81.3	30	126.1	962	78.7	61	122.2	1,236	84.7
にら	152	92.5	941	102.7	178	97.4	885	89.3	166	87.5	847	89.7	496	92.4	889	93.4
セルリー	178	115.3	263	94.7	190	114.9	248	86.5	175	109.0	243	80.4	543	113.1	251	87.0
カリフラワー	68	91.4	287	100.0	70	68.0	307	114.4	92	100.0	264	97.2	230	85.3	284	103.4
ブロッコリー	590	86.6	627	110.0	760	97.3	571	91.3	741	99.6	563	99.1	2,091	94.8	584	99.1
サラダな	14	101.7	743	84.3	16	99.3	657	88.3	16	91.3	532	75.9	46	97.1	640	83.3
パセリ	7	107.7	3,866	91.2	7	118.4	4,283	85.3	9	136.1	3,060	53.4	23	120.5	3,699	74.2
チンゲンサイ	95	98.6	503	123.8	116	103.4	378	97.9	108	94.1	340	88.1	320	98.7	403	102.6
エンダイブ	2	107.8	804	92.5	2	103.8	818	99.2	2	88.3	799	99.7	7	99.5	807	97.2
ミニトマト	512	98.1	1,116	88.7	507	102.4	1,181	93.2	572	114.0	1,130	94.7	1,591	104.7	1,142	92.1
とうもろこし	57	64.5	335	115.0	11	70.5	352	147.8	12	93.9	336	111.7	80	68.5	337	118.3
いんげん	32	90.1	1,476	125.3	52	147.0	1,240	84.0	53	148.1	968	66.3	137	128.2	1,191	86.9
えだまめ	133	106.9	961	95.2	88	72.3	1,020	112.6	41	102.9	1,017	112.2	262	91.6	989	104.0
やまといも	33	89.7	715	113.2	33	103.7	720	114.0	28	100.1	735	114.2	93	97.3	723	113.8
根しょうが	64	101.3	790	127.9	57	85.8	847	138.5	52	84.5	851	136.3	173	90.5	827	133.9
マッシュルーム	42	118.5	894	86.1	38	103.3	1,000	93.7	35	100.8	1,088	97.7	115	107.5	988	92.1

品目 (果実)	9月下旬				10月上旬				10月中旬				10月中旬～11月上旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
みかん類	1,325	134.1	314	88.3	2,072	129.3	313	92.8	3,799	146.2	289	84.6	7,195	138.7	300	87.6
かんきつ類	244	112.7	323	93.6	283	103.8	309	93.5	228	87.3	315	100.7	755	100.6	315	96.0
りんご類	1,343	87.5	405	113.0	1,702	84.9	443	109.9	1,789	88.0	443	101.8	4,834	86.7	432	107.4
その他りんご	470	94.8	422	27.4	770	94.6	443	31.2	562	98.8	394	26.4	1,803	95.9	422	28.6
いちご類	9	119.3	2,788	97.1	9	90.0	2,969	91.3	8	96.7	3,218	95.6	26	100.7	2,985	93.9
メロン類	250	92.4	744	115.2	215	78.4	770	114.9	173	93.4	756	99.2	638	87.4	756	110.5
(アールスメロン)	100	95.0	884	113.1	101	98.4	960	100.6	93	116.0	889	85.5	294	102.1	912	99.6
すいか類	105	74.9	324	104.0	49	87.9	354	103.9	55	106.9	314	91.4	208	84.4	328	101.1
(すいか大玉)	78	65.6	324	105.9	40	84.3	372	110.0	35	95.6	336	102.3	153	75.3	339	106.8
(こだますいか)	26	128.8	325	94.1	9	108.2	273	77.4	20	135.0	274	72.1	55	127.0	298	83.2
日本なし類	1,947	120.9	452	95.1	1,249	94.8	473	98.2	859	127.7	456	95.9	4,055	112.6	459	96.2
(なし(豊水))	651	221.4	397	29.9	74	207.6	408	29.9	8	2148.6	458	31.2	732	222.1	399	29.9
(なし(あきづき))	562	107.2	496	130.8	242	134.9	487	135.6	24	356.3	482	202.9	828	116.6	493	132.2
(なし(新高))	285	93.6	376	74.6	269	79.4	390	79.6	282	137.5	388	88.9	836	98.5	385	79.8
その他の日本なし	410	87.0	533	65.0	649	86.3	513	56.1	544	118.2	490	36.3	1,604	95.2	510	50.7
ぶどう類	1,461	93.8	1,565	101.3	1,146	86.1	1,630	108.0	779	77.8	1,705	108.8	3,386	87.1	1,619	105.3
(シャインマスカット)	1,003	99.0	1,614	413.6	778	91.6	1,682	406.4	541	81.5	1,755	419.1	2,322	91.9	1,670	411.6
その他ぶどう	104	109.6	1,518	271.2	116	100.7	1,522	293.5	87	84.7	1,602	319.6	307	98.1	1,543	293.8
かき類	1,597	107.2	417	102.1	2,582	117.9	362	95.9	3,431	120.8	302	89.0	7,610	116.7	347	94.2

主要品目一覧(都中央千葉県産)

品目 (野菜)	9月下旬				10月上旬				10月中旬				10月中旬～11月上旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
だいこん	0	-	0	-	73	69.3	105	119.7	552	140.1	90	86.9	625	120.4	91	265.0
にんじん	4	10.0	264	113.2	3	6.4	256	128.5	3	10.5	264	114.1	10	8.8	261	119.0
キャベツ類	5	14.3	93	84.9	60	61.5	110	78.4	205	160.0	97	73.6	270	104.0	100	75.5
ほうれんそう	1	41.3	1,095	125.2	5	131.5	748	87.5	7	144.0	581	83.7	13	118.0	687	86.8
ねぎ	5	94.5	609	87.9	6	100.7	663	82.8	8	86.7	528	81.8	19	93.1	595	84.3
レタス類	7	69.1	1,194	108.7	7	72.0	1,153	102.9	7	66.4	1,133	101.2	21	69.2	1,160	104.2
きゅうり	51	128.0	478	106.3	63	119.8	454	91.4	54	104.7	441	81.4	167	116.7	457	91.5
なす	5	89.7	382	108.2	4	72.8	423	109.0	3	65.5	400	110.0	12	76.3	402	108.6
トマト	301	100.8	585	108.3	222	93.5	620	91.3	234	127.3	602	78.7	757	105.2	601	93.3
ピーマン	5	134.0	604	75.7	7	137.2	598	75.9	5	106.5	573	75.7	18	125.2	592	76.0
さといも	119	114.1	347	111.2	61	130.4	339	107.5	30	142.8	327	104.2	210	122.0	342	109.2
かんしょ	546	99.0	282	106.0	548	103.2	294	108.6	443	95.6	300	109.1	1,537	99.4	292	107.8
かぶ	168	121.5	150	103.9	230	127.8	148	98.6	218	99.3	146	95.9	616	114.5	148	98.9
こまつ菜	6	71.9	428	97.4	8	74.2	315	75.7	7	80.6	281	70.5	21	75.5	338	80.7
サラダな	8	118.0	789	87.1	9	111.3	647	86.7	9	96.2	522	76.3	26	107.5	648	84.5
えだまめ	2	140.7	824	91.9	3	171.1	889	104.1	6	122.7	911	97.4	11	138.2	888	97.9
やまといも	22	94.1	703	110.8	20	107.9	712	113.0	17	106.6	734	115.7	59	102.0	715	112.9

品目 (果実)	9月下旬				10月上旬				10月中旬				10月中旬～11月上旬合計			
	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比	入荷量	前年比	価格	前年比
メロン類	4	80.5	555	112.4	3	106.8	643	93.4	2	124.5	591	73.5	9	97.6	592	96.0
(アールスメロン)	4	105.7	555	97.6	3	103.2	657	95.6	2	125.9	591	73.6	9	109.8	596	89.7
すいか類	15	73.9	338	117.8	6	146.7	363	124.9	0	6.7	141	38.9	21	76.6	343	115.6
(すいか大玉)	14	69.5	337	117.4	6	146.7	363	124.9	0	6.7	141	38.9	20	73.4	342	115.4
日本なし類	185	107.3	428	96.2	37	66.1	381	97.1	1	5.1	377	94.7	222	91.8	421	97.6
(なし(豊水))	24	82.3	341	79.1	1	5.6	205	57.8	0	-	0	-	24	62.3	338	82.2
(なし(あきづき))	96	147.4	508	93.3	14	182.2	457	93.5	0	-	486	-	111	151.2	501	93.1
(なし(新高))	33	94.4	342	96.1	7	73.5	256	86.7	0	1.6	324	156.2	40	85.5	327	97.4
その他の日本なし	31	73.7	343	90.6	15	52.8	372	90.3	1	5.7	379	86.6	47	56.7	353	88.5

注) 斜体で表示した品目は、季節的に入れ替えをします。
0は単位に満たないもの。-は数値の発表がないもの。

前年比10%以上
前年比10%以下

資料:東京青果物情報センター速報

2 11月の見通し

野菜

11月は関東や西南暖地産への切り替わりが本格化し、猛暑の影響を抜けた生育ステージの野菜が増加する。特に、関東近在の野菜は、暑さを避けて播種や定植を遅らせた品目や、9月5日の台風通過後に播種・定植を行った産地が多く、これらが従来の収穫時期のものと重なり、「だいこん」「キャベツ類」等は潤沢な入荷が予想される。一方、「ブロッコリー」は全体としては豊作の予想であるが、埼玉県産及び西南暖地産が定植時の高温乾燥や10月下旬の冷え込みの影響で出だしは少なく、11月上旬は端境期となる予想。

野菜全体の入荷量は前年をかなり上回り、単価は前年を大幅に下回る（平年並）見込み。

果実

11月は「みかん類」「かき類」「りんご類」を中心に入荷。「みかん類」は「早生みかん」の出回りが本格化し、「極早生みかん」同様、不作だった前年を上回る入荷量の見込み。「かき類」も前年多かったカメムシ類の被害が少なく、前年を上回る十分な入荷量の見込み。「りんご類」は不作の前年同様か、下回る可能性もある。「いちご類」は各産地出揃う見通しで、定植が遅れた産地もあるが、生育はおおむね順調。

果実全体の入荷量は前年をやや上回り、価格はやや下回る見込み。

品目	入荷量(t)		単価(円/kg)		備考 (主産地の生育状況等)
	前年比	平年比	前年比	平年比	
だいこん	↗↗	⇒	↓↓↓	↘	主産地は千葉県、神奈川県。いずれも生育は順調。神奈川県は猛暑の影響で播種を遅らせたことや9月1週目の台風通過後に一斉に播種したことから、11月の出荷量は平年並で少なかった前年を上回る見込み。
にんじん	↗	↘	⇒	↑↑	主産地は北海道、千葉県。北海道産は増加せず上旬に収穫終了の見通し。千葉県産も生育は遅れているが、降雨があり気温もそこまで低くないので徐々に回復していくと見込まれる。全体の入荷量は平年をやや下回る見込み。
キャベツ類	↑↑	⇒	↓↓↓	↓↓↓	主産地は千葉県、茨城県、愛知県。前段産地の残量があるため、上旬～中旬にかけては相場も軟調となるが、中旬以降はやや不足感が出る見通し。高温・乾燥の影響から関東産は11月～12月に増量となる見込み。入荷量は少なかった前年を大幅に上回り、平年並を見込む。
ねぎ	⇒	⇒	↘↘	↗↗	主産地は秋田県、青森県、茨城県。上旬は東北・北海道産の出荷ピークとなり、中旬より徐々に切り上がりだす。関東産は上旬～中旬ごろ出始めるが、高温・乾燥の影響から細物傾向となり、出揃うのは下旬ごろの見込み。全体の入荷量は前年・平年並を見込む。
きゅうり	↑↑	⇒	↓↓↓	⇒	主産地は埼玉県、宮崎県、群馬県。各産地生育は順調で、入荷量及び単価は平年並を見込む。
トマト	↑↑	↘	↓↓↓	↗↗	主産地は熊本県、愛知県。上旬に夏秋作産地が終了し、下旬にかけ抑制作の入荷量が減少するが、後続の加温作の出荷が始まり出荷量は横ばい。加温作産地の出荷が本格化するのは11月中下旬～12月初めを見込む。全体の入荷量は平年をやや下回るものの少なかった前年を上回る見込み。
			増加	減少	

凡例			
⇒	平年並: ±2%	↗↗, ↘↘	かなり高, かなり低: ±6~15%
↗, ↘	やや高, やや低: ±3~5%	↑↑, ↓↓	大幅高, 大幅低: ±16%以上

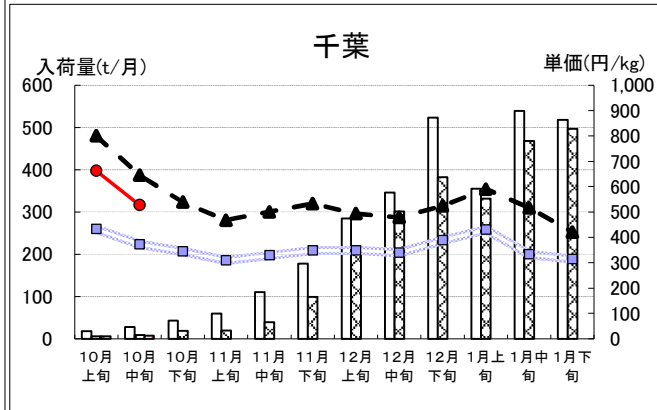
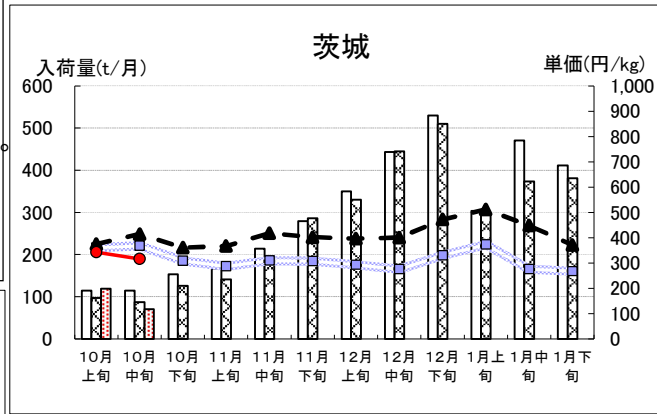
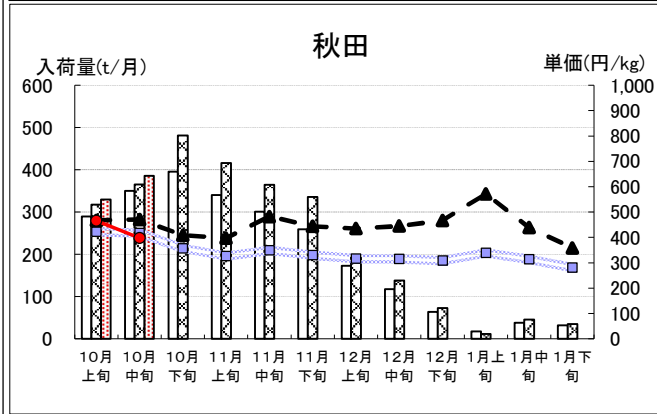
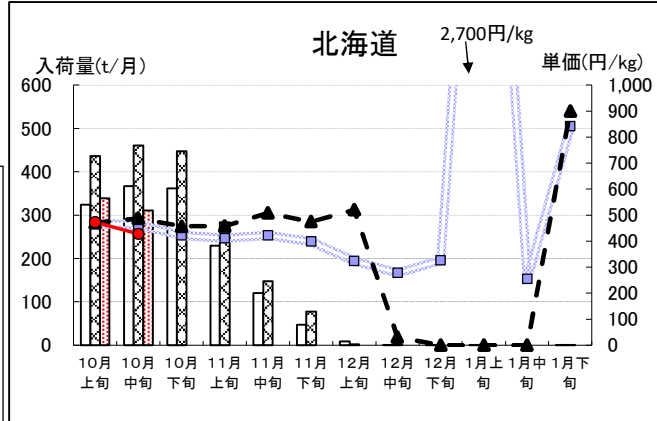
3 今月の青果物

ねぎ

主要産地のねぎの入荷量(東京都中央卸売市場)

産地	2024年度11月入荷量	2024年度11月シェア率
北海道	509 t	10.5 %
秋田	1,116 t	23.1 %
茨城	615 t	12.7 %
千葉	158 t	3.3 %

11月入荷予測	4,900t(前年比101.3%、平年比99.5%)		
11月価格予測	380円(前年比84.1%、平年比113.6%)		
11月市況予測	(上旬) 保合 ⇒	(中旬) 保合 ⇒	(下旬) 保合 ⇒

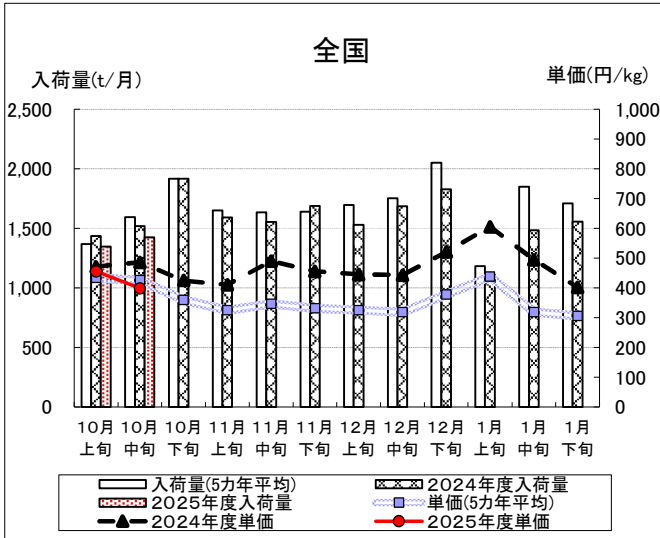


今後の競合産地の動向は?

東京都中央卸売市場におけるねぎは年間を通じて産地リレーがなされており、関東産地(茨城、千葉、埼玉等)が秋～翌年夏、北海道及び東北産地(青森、秋田、山形等)が夏～秋の主な産地となります。

従来、北海道及び東北産地は10月下旬に入荷量のピークを迎えていましたが、今年は夏期の高温・乾燥の影響で生育が遅れており、11月にピークを迎える産地も多い見込みとなっています。続く関東産地も高温・乾燥の影響を受けており、生育は遅れ、しばらくは細物傾向での入荷が続く見込みです。しかし、10月は気温の低下が早かったこと、定期的な降雨があったことから生育の遅れは徐々に回復しつつあり、同じく夏期の高温・乾燥により年内の入荷量が平年を大幅に下回った前年よりは入荷量が多くなる見込みです。

ねぎやはくさい等の野菜は「鍋需要」が存在し、これは一般には冷え込みが早く、強いほど強まります。量販店も気温の変化に合わせて鍋用食材のエリアを売り場に設ける等しています(気温の低下に合わせてカレー需要→シチュー需要→鍋需要と変化していくとか)。作柄による供給量の変動の他にも、このような需要の変動も相場を左右する要因となっており、販売促進においては、レシピ集の配布等、食べ方提案を行う産地も多数あります。



Ⅱ 花き(切花)情報

10月(中旬)までの経過

秋彼岸の需要期である9月中旬は猛暑の影響が残り、入荷量も少なかった。9月上旬から10月上旬は猛暑の影響で遅れていた分の入荷があったことや10月に入り、気温が落ち着いたことから各産地から潤沢な入荷があった。相場に関しては、イベントやブライダル需要もあり、9月下旬から10月上旬にかけて前年を上回る値動きとなった。

販売経過 (東京都中央卸売市場大田市場)

項目	経過
入荷量	9月下旬は前年をやや上回り、10月上旬は前年を大幅に上回った。中旬は平年並の入荷であった。
相場	9月下旬は前年を大幅に上回り、10月上旬は前年をやや上回った。中旬は、前年を大幅に下回った。
動向	秋彼岸の需要期を過ぎ、各産地が品目や品種の切り替えを行う端境期にあたる時期であるが、猛暑によって遅延していた分の入荷もあり、9月下旬、10月上旬と前年を上回る入荷量であった。

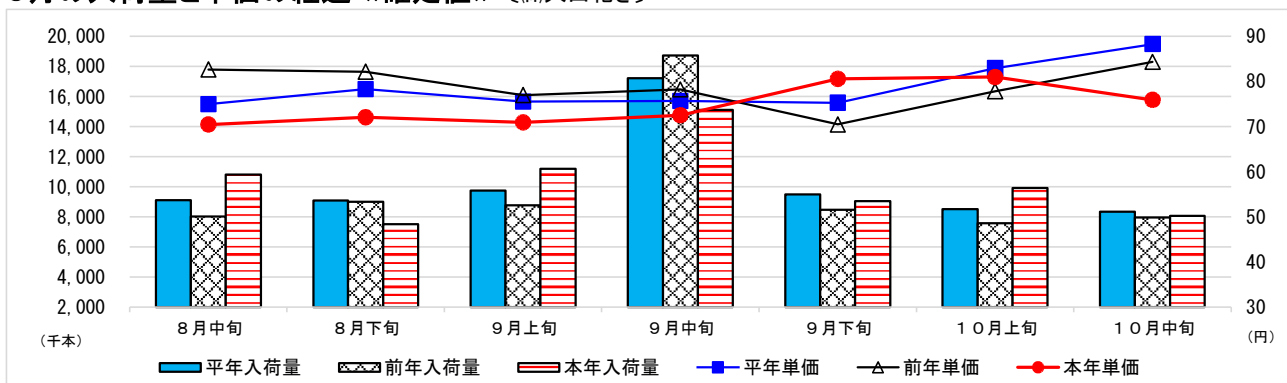
品目別経過

品目	経過
ガーベラ	株大田花き 夏の影響が残り、品薄品種も見られたが、秋の引き合いが見られ、例年より安定した相場展開となった。夜温が下がり、数量は徐々に回復傾向。
コギク	株大田花き 本州産は定植時の猛暑の影響を受け、短径・葉焼け等の規格外品の発生率が高まるなど品質面に課題があり、上旬は全国的に品薄感が強くなった。沖縄産は徐々に数量が増加し、安定した入荷量となった。
バラ	株東日本板橋花き 静岡、愛知は長いものも増えてくる。スプレータイプは引き続き昨年より少ない入荷が続く見込み。

11月の見通し

品目	見通し
カーネーション	株世田谷花き 入荷量徐々に回復するも業務需要中心に販売堅調を維持。
ガーベラ	株大田花き 新品種も全て揃い、越年株の夏バテ回復も進むため、品質・数量ともに秋のピークとなる。

9月の入荷量と単価の経過<<確定値>>〔株大田花き〕



花き流通情報連絡協議会資料より作成 平年値は過去3カ年の平均

III や っ ち ゃ ば 閑 話

「箱推し」

本紙 令和6年5月号で御紹介した「^お押し活」に、「^{はこお}箱推し」という概念がある。これは、推しの対象を特定の人物やキャラクター等に限るのではなく、グループ全員、あるいはその世界観全体を推すという意味である。ちなみに「箱推し」の対義語は「^{たん}単推し」だそうだが、使われている場面は見たことがない。そもそも推しの対象は一人（一つ）に限らない場合も多く、複数の「推し」の中で特に推す対象を「^{さい}最推し」という。例えば筆者は、くだもの界隈では柑橘類が「箱推し」であり、「最推し」は「紅まどonna」と「土佐文旦」の2強である。まもなくシーズン到来、待ち遠しい今日この頃である。

さて、ここまで述べた「箱」は概念的な意味であるが、本来の意味である物理的な「箱」についても述べてみたい。一般に「箱」と聞いて思い浮かぶのは、やはり「段ボール箱」だろう。世界中のあらゆるモノの輸送に活用され、現代の物流には絶対不可欠といっても過言ではない。基本的な素材や構造はシンプルでありながら、様々な規格やデザインがあり、とても奥が深い。

先日、友人2人が、我が県にある“夢と魔法の国”のオンラインショップで商品を購入したところ、白地に主要キャラクター達がデザインされた段ボール箱が届き、その場で“テンション爆上がり”となったらしい。こういう箱は、輸送という主要任務を終えた後も処分されずに再利用されるのがお約束である。後日聞いたところ、1つはサツマイモの貯蔵用として、もう1つは親御さんが親戚にお米を送るのに使われたとか。

青果物の出荷箱も、昔から多くの産地・生産者が苦勞を重ね、創意工夫により作成されてきた。特に近年は、よりデザイン性の高いものが増えているように思う。この理由の一つには、出荷箱のデザインが、これまでは業界内における産地や規格の識別といった実務的な役割が中心であったところに、ネット通販等により産地から消費者へ出荷箱がそのまま届く機会が増加するなど、広く一般の目に触れる機会が増えたことにより、デザイン性が一層求められるようになったからではと考えている。

本県では今年度、全国1位を誇る「日本なし」について、出荷箱や販促資材等に活用するブランドデザインの作成に取り組んでいる。現在、デザインの公募が終了し、一次審査を通過した20作品に対して一般投票を実施するところ。“千葉の梨”を「箱推し」する象徴として、箱が届いた瞬間にテンションが上がり、「推し箱」として再利用していただけるような、素敵なデザインが誕生することを願う。（帰ってきたクリスチーネ剛田）

Ⅳ 首都圏 掲 示 板



枝物生産者による市場及び店舗視察会が開催されました！

10月20日(月)、夷隅農業事務所が主催する「枝物・草花栽培講座」の一環として、大田市場及び首都圏生花店を訪問する視察研修会が行われ、卸売市場、生産者、JA全農ちば、JAいすみ、県関係者が参加しました。

夷隅地域では、枝物の産地育成に力を入れており、「パンパスグラス」や「コバノズイナ」「アメリカリョウブ」等を大田市場へ出荷しています。

大田市場では、セリ場や仲卸通り、保冷施設等の見学と市場関係者との意見交換会を行い、その後、首都圏内の生花店を巡回しました。生花店のスタッフの方からは、パンパスグラスの品質に対する高い評価とともに、増産の要望など、好意的な意見を多くいただきました。



セリ開始前の入荷品の見学及び市場関係者との意見交換会の様子
他産地の情勢や、担い手育成、品質等、様々な視点で意見交換を行いました！



パンパスグラスの
ガイド旗



花き棟の仲卸通り及び首都圏生花店を見学する参加者
ガイド旗にパンパスグラスを活用する等ユニークな視察会でした！



ご提供いただいている青果物及び花き産地情報について

首都圏マーケティングセンターでは、青果物及び花きの産地情報の提供を、全農業事務所をお願いしています。いただいた情報は、他県やJA全農、経済連、卸売会社との情報交換会議の基礎資料として活用するほか、農林水産省や花きの仲卸・小売店等の流通業界に情報提供しています。

生育情報や産地の様子、取組等の積極的な情報発信に向けて、引き続き毎月の情報提供をお願いいたします。

～メールマガジン配信のご案内～

ホームページ情報の更新内容などをお伝えする電子メール（メールマガジン）を配信しています。ご希望の方は下記メールにてお申し込みください。

宛先 : nousin007@mz.pref.chiba.lg.jp

※タイトル欄に「メールマガジン希望」、本文に所属（勤務先）と担当者名を記入してください。